



令和6年度第1回
板橋区認知症フレンドリー協議会
開催報告書



板橋区 おとしより保健福祉センター 認知症施策推進係

1. 趣旨

高齢化社会が進展するにつれ、認知症の人の数も増加しています。認知症は誰でもなる可能性のあるもので、家族や身近な人が認知症になることなども含め、多くの人にとって身近なものとなっています。

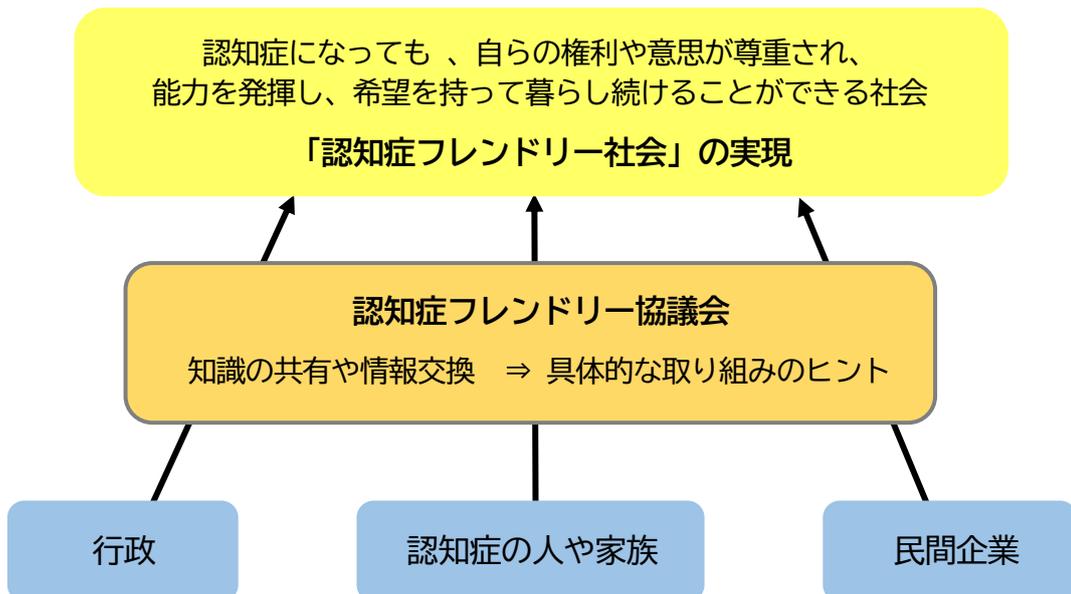
認知症になっても、周囲や地域の理解と協力のもと、希望を持って前を向き、自身の力を活かしていくことで、生活上の困難を減らすことができます。

住み慣れた地域の中で、認知症の人の尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることができる社会を実現させるためには、人が生活する上で関係する幅広い業界及びその関係者の参画と連携が必要です。

板橋区では、官民連携について検討する場として、板橋区認知症フレンドリー協議会（板橋区認知症官民協議会）を立ち上げました。

2. 目的

認知症の人や家族、地域住民、福祉関係者、医療関係者、民間企業、行政等が協力し、認知症になっても、自らの権利や意思が尊重され、能力を發揮し、希望を持って暮らし続けることができる社会である「認知症フレンドリー社会」の実現をめざします。



3. 開催概要

- 会議名 板橋区認知症フレンドリー協議会（板橋区認知症官民協議会）
日時 令和6年7月17日（水）14時～15時30分
場所 板橋区立グリーンホール 2階ホール（板橋区栄町36-1）
内容 (1) 講話「本人の声を聞いてみませんか？」
東京都健康長寿医療センター研究所 岡村毅氏
(2) 若年性認知症当事者へのインタビュー
登壇：若年性認知症当事者 岩田裕之氏、藤島岳彦氏
インタビュアー：東京都健康長寿医療センター研究所 宮前史子氏
(3) グループワーク、意見交換

4. 委員

当日は38名が参加しました（区職員を含む）。

委員所属

認知症未来社会創造センター
東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム
若年性認知症当事者
認知症カフェ オレンジのロバ / 男性家族交流会
板橋区社会福祉協議会 地域共生課 地域共生推進係
東京都民生・児童委員協議会
日本郵便株式会社 板橋郵便局
朝日信用金庫 営業統括部
東京ヤクルト販売株式会社 広報チーム
独立行政法人都市再生機構 UR都市賃貸住宅本部 東京北エリア経営部
株式会社URコミュニティ 東京北住まいセンター
東京ガスライフバルTAKEUCHI株式会社
イオンリテール株式会社 南関東カンパニー イオンスタイル板橋
東東京事業部 イオンスタイル板橋前野町
生活協同組合コープみらい 東京都本部 参加とネットワーク推進部 運営課
板橋区立中央図書館
板橋区立志村図書館（指定管理者 株式会社ヴィアックス）
熊野おとしより相談センター
常盤台おとしより相談センター
志村坂上おとしより相談センター
徳丸おとしより相談センター

オブザーバー所属

公益社団法人板橋区医師会
公益社団法人東京都板橋区歯科医師会
東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム

5. 協議会の内容

① 開会のあいさつ

板橋区 健康生きがい部長 水野 博史

② 講話「本人の声を聞いてみませんか？」

東京都健康長寿医療センター研究所 岡村 毅氏

岡村医師より、認知症の当事者の声を聞く大切さについてご講話いただきました。

認知症になったら不幸、ならなければ理想だというのは古い考え方で、これからは認知症があってもなくても幸せに生きていこうという時代になっていくことや、一足先に認知症とともに生きている人は、将来の自分の姿でもあるので、認知症の人の話を聞くことは大切な体験になると思う、と分かりやすく伝えていただきました。

また、東京都健康長寿医療センター研究所が行った研究の事例や、自治体と企業の取り組みの事例など、今後の検討に向けたヒントもご紹介いただきました。



③ 認知症の人へのインタビュー

登壇：若年性認知症当事者 岩田 裕之氏、藤島 岳彦氏

インタビュアー：東京都健康長寿医療センター研究所 宮前 史子氏

宮前氏が聞き手となり、若年性認知症当事者のお二人にお話を伺いました。

藤島氏には、働くことの難しさについてお話いただきました。

アルツハイマー型認知症と診断されて、勤めていた会社を辞めたあと、新たな仕事を探して、スーパーの品出しの仕事の研修を受けたときのこと。

商品を棚へ陳列する際、似たパッケージの判別が難しかったり、賞味期限順に

並べ替える時には箱に書かれた日付を見ても何を見ていたのか、何を探していたのか分からなかったり、探しているものを忘れてしまい、うまく仕事をこなすことができなかったとのこと。

はじめは簡単な仕事だと思っていたけれども、アルツハイマー型認知症の特徴であるもの忘れや判断力の低下により、できない作業もあるという事が分かったとお話しされていました。

仕事はしたいけれど、うまくできないもどかしさもあるので、時間に追われずにゆっくり取り組める仕事があれば良いと思うこともあったそうです。

インタビュアーの宮前氏からは、認知症の人は、すべてができなくなるわけではなく、できることもあるので、うまく仕事とマッチングできるような仕組みがあるといいとのことがありました。



続いて、岩田氏からは、生活の中で困ったことについてお話しいただきました。

岩田氏は行動異常型前頭側頭型認知症と診断されていて、無銭飲食などの反社会的なことをしたり、同じことを繰り返したりといった症状があるそうです。

過去には、行動のコントロールができず、無意識のうちに万引きをしてしまい、何度も警察に拘留されたことがあるので、店員さんにもっと気にかけてもらって、声を掛けてもらえたら良いなと思うとお話しされていました。

また、認知症であるかどうかは見た目だけでは分からないため、診断書を持ち歩いてはいるけれど、うまく伝えられずに「病気を言い訳にしている」と言われたこともあったと、自身の経験を語られました。



④ グループワーク、意見交換

岡村医師の講話と若年性認知症当事者のお二人へのインタビューを踏まえて感じたことなどについて、グループワークを行いました。

最後に、各グループで出た意見を共有しました。

○1グループ

認知症の人の中には、「認知症だから手助けしてほしい」という声を出しづらい方もいると思います。認知症だからではなく、一人の困っている方として対応をしていきたいです。

また、認知症に対する学びを深めていく必要があるという意見も出ました。



○2グループ

相手が高齢者であれば、認知症かもしれないという視点を持って対応をすることができますが、若年性認知症の方は気づかず対応してしまうかもしれません。認知症に対する理解がまだまだ浅く、気づくための勉強が必要だと思いました。

藤島氏が、けがはないが、心の痛みはあるとおっしゃっていたのが印象的でした。

○3グループ

認知症の当事者の話を聞いて、勉強不足だと感じました。各企業に出張して講座を行うなど、勉強の機会があるといいのではないのでしょうか。

認知症の有無にかかわらず、コミュニケーションを大切にして、人として接することが大事だと思います。

地域・企業・行政が連携して、認知症の人を見守っていくことが重要だと思います。今後さらに理解を深めていけるようにしたいです。

○4グループ

認知症に対する認識が、立場によってそれぞれ異なることを感じました。認知症にまつわるトラブルには避けられない部分もありますが、認知症に対する正しい理解と偏見をなくすことが大事だと思います。

できることもできないこともあります。できることを考えていく必要があると思います。例えば、お店でのトラブルが心配な場合には、前もってお店に言うなど、お店とのコミュニケーションをとることも大切です。声かけは勇気のいる事ですが、重要だと思います。



⑤ 講評

認知症未来社会創造センター 栗田 圭一氏

会の最後に、栗田医師より講評をいただきました。

国の認知症施策推進関係者会議に出席している認知症の当事者3名が、会議の中で、「古い認知症観を乗り越えて、新しい認知症観を持ちましょう」とおっしゃっていることをご紹介いただきました。

「古い認知症観」とは、認知症になったら何もできない、何もわからない、人生が終わるというイメージで、一方「新しい認知症観」とは、認知機能は低下するが、そのことを踏まえて考えられた環境であれば、希望を持って暮らし続けることができるという考え方です。

関係者会議で3人が主張されていることと、今日の2人の話はまさに同じで、周囲が認知症について学び、認知機能の障害や生活のしづらさに対する理解のある世の中であれば、共生社会の実現を目指すことができるのだとお話いただきました。



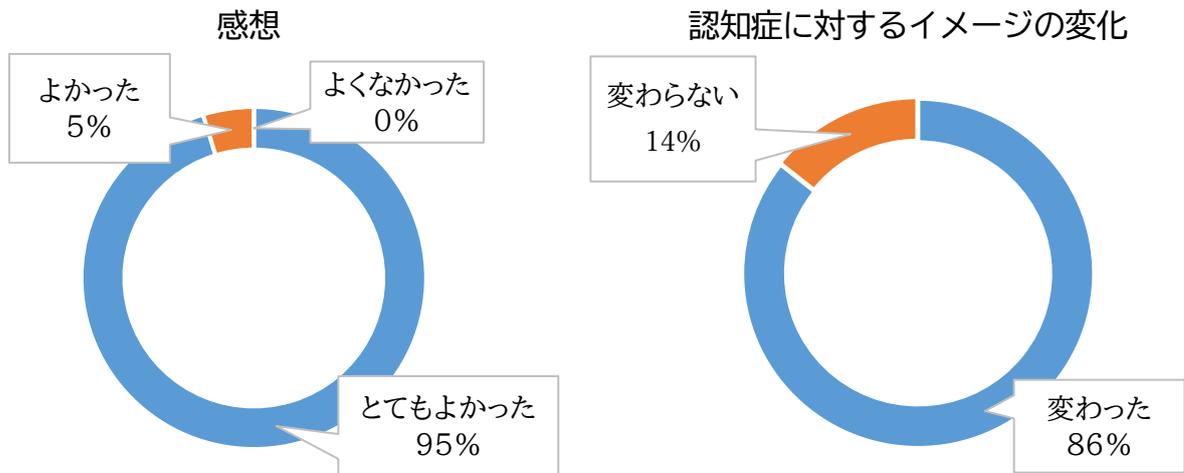
6. 取材について

当日は2社の報道機関に取材していただきました。

株式会社都政新報社
都政新報 7月23日掲載

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
東京MXテレビ NEWS FLAG 7月17日放送

7. 委員アンケートの結果



認知症について知りたいことや、興味があること（回答抜粋）

- ・ 認知症をもっと知りたい、今回のような場所を作ってほしい
- ・ 認知症の症状を具体的に知りたい
- ・ 各民間企業の取り組みを知りたい
- ・ 認知症の方が買い物をする際に困っていること、どんなサービスがあればより買い物がしやすくなるのか
- ・ フレンドリー社会の実現について

8. 次回の開催予定

日にち 令和6年11月27日（水）

場 所 板橋区立グリーンホール 2階ホール（板橋区栄町36-1）